台風被害の現状と今後の対策について
関係機関と連携し取り組む

黒木正建（くろき まさたけ）議員

問 県道、町道の通行止め、停電、浸水の状況を伺う。

町長 県道が4路線、町道が25路線である。停電は5700戸停電率41・9％で地区によっては4日間の停電もある。

浸水被害は塩田川及び宮田川周辺等の約11地区で発生している。

問 倒木、浸水対策として、(1)から(3)の本町としての今後の対応について伺う。

(1)道路沿線の植林は防風機能の高い低木類の広葉樹にする。

(2)道路上の倒木処理は林業従事者の協力を得て早期の対応を行う。

(3)浸水問題については、宮田川の堆積土砂の除去、塩田川では堤防の嵩上げ対策が急がれる。

建設管理課長 塩田川では水があふれたが、県が応急的な処置として堤防の嵩上げをしたが今後とも協議していきたい。

◆町内の住宅建設について

問 現状と波及効果について伺う。

町長 今年11月迄の1年間で専用住宅一戸建83戸、集合住宅7棟の47戸となっている。専用住宅は横ばいで、集合住宅が延びている状況である。人口の推移については大きな変動はまだ見られない。

◆蚊口、鴫野浜の流木等の処置について

問 流木の状況把握及び海岸の管理責任を伺う。

町長 流木や漂着ゴミの状況は確認している。管理は県となっているが、県の出先と国の出先機関と沿岸の市町村での連絡調整会議の中で、流木等流れついたものは一般廃棄物として各自治体で処置することとなっている。

※買い物難民といわれる高齢者支援についても質問いたしました。

提案 海岸の流木等の処置について、財政的に厳しいのであれば、夏一度の清掃作業を年数回に増やす工夫と対策を講じたらどうか。

農家への被害対策は
国や県、JAなどと協力

永友良和（ながとも よしかず）議員

問 今後も起こり得るこのような災害に対して、町としてはどのような対応をしていくのか。

町長 この事態を大変重く受け止め、国や県・JAなどと協力し、災害に対応できる栽培体型の構築と安定した経営を持続できる環境づくりに努める。

問 被害状況と事業申請の受け付けは。

農業政策課長 台風の翌日に調査を行い県に報告した。事業申請は、産地活性化総合事業が53件、被災農業者向け経営体育成支援事業が68件、畜産関係でも18件が提出されている。

問 今後の対策は。

農業政策課長 最新技術の導入や農業共済または、収入保険の加入等を進めていく。

問 災害対策基金の積み立ては。

町長 財政調整基金を活用し、町民の安心安全を確保する観点からも積み直し等を考えていきたい。

◆介護人材の現状と確保対策は

問 本町の高齢化率と介護認定率の推移は。

健康保険課長 高齢化率は、平成25年は27・2％で平成30年は32・0％、介護認定率は、平成25年は14・6％で平成30年は14・1％である。7年後の2025年には、高齢化率34％、介護認定率16・7％と上昇していくと推定する。

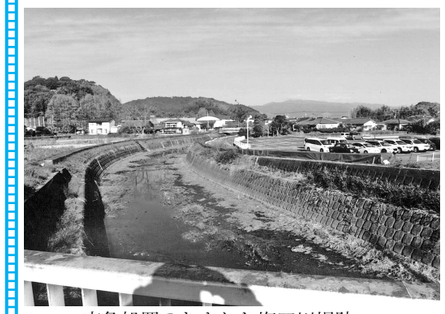
問 ハローワークにおける介護人材募集件数は。

健康保険課長 10月末までの有効求人数は221人で、その内、介護職希望は91人である。

問 児湯5町で連携し介護士の養成校を創設してはどうか。

町長 介護人材の育成や確保は必要と考えるが、県内に45事業所の施設があり充足していると考え、現時点では養成校の設置は考えていない。

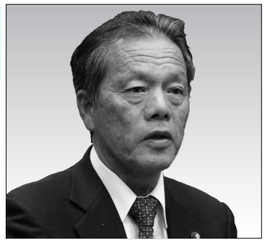
意見 今後、県や各町と連携し設置を考えられる時は、ぜひ奨励金制度を導入してもらいたい。今、介護人材確保策を講じなければ、介護を受けたくても受けられない介護難民が増加すると考える。今こそ町長のリーダーシップで各町に働きかけ、積極的な事業展開をすべきである。



応急処置のなされた塩田川堤防

台風災害の被害状況は
倒木や冠水等が多数発生

春成勇（はるなり いさむ）議員



問 台風災害の被害状況は。

町長 町内は、倒木被害のため、県道25号路線の通行止め、家屋や倉庫、農業施設等の損壊、電線の断線。また、豪雨による冠水被害が多数発生した。

問 県道染ヶ岡～家床間では、倒木と崖崩れが起きているが、復旧の見通しは。

建設管理課長 2月5日から倒木撤去作業に入ると聞いている。

問 町道太平寺線付近で崖崩れが起き、倒木が電線に引っかかっているが復旧の見通しは。

建設管理課長 材木の所有者が業者に倒木の撤去をお願いしているが、そこまで手が回ってない状況である。

問 脇地区の山頂に電線の鉄塔が建っており、その付近で山崩れがおきているが対応は。

農業政策課長 電線の鉄塔付近は、県のほうが治山事業で対応する。

問 豪雨による被害状況は。

町長 住宅等の床上床下浸水、道路や農地等の冠水が町内各所で発生し、多大な被害となった。

問 町営団地の堀の内・正ケ井手・水除は、台風により屋根瓦にビニルシートがはられ三ヶ月もそのままの状況だがその対応は。

建設管理課長 事業者も屋根の修理が非常に多い状況であるが、早い復旧をお願いしている。

問 宮崎キヤノンのアクセス道路の進捗状況は。

建設管理課長 南側アクセス道路は約60％、西側アクセス道路は約20％、東側道路は現在契約したばかりである。

問 北側の上下水道の進捗状況は。

上下水道課長 延長ベースで30％である。

問 北側アクセス道路の計画は。

建設管理課長 31年度から防衛省の補助で道路を整備する予定である。

問 宮崎キヤノン進出に伴う町内の変化は。

建設管理課長 共同住宅が増えている。キヤノンの影響もあると思う。

問 ふるさと納税は現在11月末時点で16億4000万円だが3月までの予想は。

地域政策課長 今年度は20億円程度になると考える。

南側アクセス道路と建設中の工場

台風24号で被害にあったキャベツ畑